

北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会十勝支部予選会

女子団体

代表決定戦を制し、全道選抜予選会出場権獲得！（2年ぶり）

大塚 麻央②・菅原 愛美①ペア

鴨川 凜②・高木 乙②ペア

前川 莉々杏①・田村 環名①ペア

須貝 凜花①・宇佐美 心菜①ペア

サポートに回って応援し続けてくれた、畠山愛来① 木田彩羽①

佐藤 凜① 小野 凜①

大会結果詳細については、連盟 HP 等をご覧ください。

全道大会出場権獲得は、本当に陰しく、試練の連続でしたが、なんとか、「きたえーる」のコートに立つ権利を得ることができました。

今年度は、女子7校出場のため、予選ブロックでは、熾烈な順位争いを、決勝トーナメントでは、初戦が全道出場権を懸けた戦いとなり、その敗戦直後には、全道出場権獲得を懸けた代表決定戦に回り、オーダー・モチベ確認などのめまぐるしい状況下においても、選手・部員は監督以上に冷静に、「南商生、やれば出来る！」を合い言葉に、戦い抜くことが出来ました。

アウトドアでの練習・試合もあとわずかですが、今年度は、全道選抜予選会出場という、確実に大きな目標があるので、それに向かって取り組んで参ります。また、検定取得に向けてもしっかり取り組み、自己の進路実現に繋げられるよう、頑張って参ります。今後とも、応援よろしくお願い致します。

北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会

女子ダブルス：大塚 麻央②・菅原 愛美①ペア 1回戦敗退

鴨川 凜 ②・高木 乙 ②ペア 3回戦敗退(ベスト 32)

女子シングルス 鴨川 凜 ② 4回戦敗退 (ベスト 32)

大会結果詳細については、道連 HP 等をご覧ください。

久々に十勝で行われた全道大会でした。全道各地から、各支部予選会・支部免除を経て本大会に出場された方々と、帯広の森コートで対戦できたことは、私たちにとって、大きな刺激でした。

今回の大会で特筆すべきは、鴨川（音更駒場中出身）の活躍です。シングルスでは、代表決定戦に回りながらも出場権を獲得し、1回戦目からのスタートにもかかわらず、3回戦までの対戦をすべてファイナルで勝利を収め、4回戦進出を果たしました。シングルスという環境にも拘わらず、本人の頑張り（あきらめない前向きな気持ち、観客を魅了するプレー）に尽きると思います。

また、選手以外の部員も、大会補助生徒として、2日間本当に頑張ってくれました。プレーヤーとしてコートに立つことが、大きな目標ではありますが、大会運営を支える立場を通じて、学び、気づきがあります。今回の経験を通じて、プレーヤーを含めた部員全員が、それぞれの成長に繋げることが出来たら幸いです。

南商は、これから2学期中間考査を迎えます。また、情報処理検定（2年生）も控えています。毎年のことですが、団体新人戦との両立が、本当に大変な時期となります。しかし、様々な努力や苦労を超えてこそ、掴み取れるものがあるはずですから、みんなで頑張っていきたいと思います。

これからも応援よろしくお願い致します。

高体連十勝支部ソフトテニス新人大会

女子ダブルス：大塚 麻央②・菅原 愛美①ペア

鴨川 凜 ②・高木 乙 ②ペア

ともにベスト8 で全道大会出場権獲得

女子シングルス 鴨川 凜 ②

代表決定戦（第9 位）にて全道大会出場権獲得

大会結果詳細については、帯広ソフトテニス連盟 HP をご覧下さい。

我々が臨んだ新人戦は、ダブルス 41 ペア、シングルス 54 名によるトーナメント戦でした。また、今年度からしばらくの期間、全道新人大会は帯広で行われるため、地元開催枠を頂き、ダブルス・シングルスともに 12 ペア（名）が出場できることになりました。

夏休み中の様々な取り組みを経て、各校・各ペアが様々な台頭を見せ始めています。南商として、ダブルス 2 ペア、シングルス 1 名の全道出場となりますが、その結果に満足しているものは一人としておらず、勝因・敗因の理解と改善を果たし、チーム一丸となって団体戦に照準を合わせて取り組んで参ります。

ようやく、暑さも和らぎ始め、3 年生はそれぞれの進路実現に向けての動きが始まりました。

1, 2 年生は、9 月の検定（英語、情報処理）と中間考查がありますし、10 月には、中学 3 年生の体験入学があり、2 年生の見学旅行もあります。メリハリをつけ、苦しいときこそ、笑顔で乗り切れる 12 名に、これからも応援よろしくお願い致します。

国体支部予選会 少年女子ダブルス

大塚 麻央②・菅原 愛美①ペア ベスト8 で全道予選会出場権獲得

我々 Team Nansho' 23 は、新チーム（1, 2 年生 12 名・6 ペア）として大会に臨みました。40 ペアのエントリー中、7 ペアが 3 年生の出場で、ベスト 8 の壁を突破するのは、容易ではありませんでしたが、大塚・菅原ペアがなんとか全道出場権を獲得することが出来ました。

今回の大会では、あと一步で全道出場を逃したり、ベスト 16 以上に入れなかったペアたちこそ、これから大きく飛躍するチャンスをつかめたと思います。今大会での反省を生かし、次のステップアップに繋がられるよう、取り組んで参ります。

これから、期末考査、南商祭と慌ただしくなりますが、ソフトテニスへのモチベーションを保ちつつ、夏休みでの取り組みに突入したいと考えております。北海道インターハイ（苫小牧開催）への道も、残念ながら閉ざされてしまいましたので、じっくりと多くの練習・練習試合に取り組み、新人戦に臨みます。

今後とも、南商ソフトテニス部をよろしくお願い致します。



練習試合・合同練習等のお問い合わせは、顧問までご遠慮なくお問い合わせ下さい。

大会結果詳細については、帯広ソフトテニス連盟 HP をご覧下さい。

第 52 回ゴーセン杯争奪ハイスchoolジャパンカップソフトテニス 2023

女子ダブルス 北北海道代表 猪股 麗(3)・森谷 柊月(3)ペア

【予選リーグ】 第 1 対戦 0－④ 金沢学院大付（推薦）

第 2 対戦 1－④ 長野吉田（長野県代表）

北北海道代表として全国大会のコートに立ち、予選リーグ 2 対戦に臨みました。選手はもちろん、応援に駆けつけてくれた仲間達も、全国のレベルを間近で感じ、よい刺激を得ることができました。

3 年生はこれで引退となり、1，2 年生チームは、今週末の国体支部予選会に臨みます。先輩方が残してくれたものを大切に紡ぎながら、今まで以上に頑張っていきます。

これから、3 年生は各自の進路実現のため、新チームは新たな目標達成のために頑張りますので、引き続き、応援よろしくお願い致します。



ダブルス3 ペアで全道大会に臨みます

団体での全道出場を果たすことが出来ませんでした…

当番校業務を務めながらの集約大会でした。選手権大会明けからの4日間で、大会運営に向けた準備で目が回るような忙しさでしたが、選手達は本番に向けた最終調整に専念し、それぞれがベストな状態で臨むことが出来ました。また、大会補助生徒としての働きも素晴らしく、スムーズな大会運営を行うことが出来ました。ご協力頂いた事務局の先生方をはじめ、関係各方面の方々に御礼申し上げます。

今年度の大会では、実に3年ぶりに声を出しての応援が解禁となり、個人戦では1ポイント取るたびに選手同士が鼓舞し合い、団体戦ではチームみんなで南商のエール【応援歌】を歌うことができ、充実した大会となりました。

【個人戦結果】 森谷・猪股ペア：第3位 鴨川・今井ペア：第5位 氏家・菅原ペア：第9位

【団体戦結果】 第3位

初日に行われた個人戦では、上記3ペアが全道出場権を獲得することが出来ました。代表決定戦には、南商から3ペアが臨み、最後まで見事に勝ち上がった氏家・菅原ペアはミズノ杯から組み始めたばかりのペアでしたが、本当によく頑張りました。

2日に行われた団体戦では、予選リーグBブロック内の熾烈な戦いを勝ち抜きましたが、第4シードから準決勝・決勝まで勝ち上がることはできず、全道大会出場の権利を獲得できませんでした。

3年生の引退は、全道大会終了時となりますが、翌週にはハイジャパ本戦が控えていますし、国体支部予選や、連盟主催の一般大会への出場機会もあるので、各自の進路実現を第一に考えながら、挑戦してほしいと思います。そして何より、自分達の頑張りを後輩達に見せつけ、後輩達は、それに追いつき、追い越して欲しいと思います。



高体連集約大会までの軌跡と、これからの展望

新入生が9名も入部し、総勢18名の Team Nansho '23 が始動しています。

今年度は、ハイジャパ本戦への出場が決定しており、それに続く北海道インターハイへの出場も視野に入れながら、練習や大会に臨んでいます。大会結果だけを見ると、浮き沈みは否めませんが、少しずつではありますが、個々の力がペアリングに生かされ、各ペアの力がチームの力になりつつあります。集約大会までの日程が非常にタイトで、コンディショニングと学習（考査）の両立に苦慮していますが、頑張っています。

また、感染症対策の変更に伴い、各大会は有観客で開催となっています。体調管理に留意され、観戦・応援をしていただければ幸いです。



春季大会（4／30） 鴨川・今井ペア：ベスト 8

大塚・高木ペア：ベスト 16

旭川ミズノ杯（5／6） 森谷・猪股ペア：ベスト 8

鴨川・今井ペア、前川・田村ペア：ベスト 32

加盟団体（5／7） A/B チームともに予選リーグ敗退

選手権大会（5／13） 森谷・猪股ペア：優 勝

氏家・菅原ペア、大塚・高木ペア：ベスト 16

ハイジャパ本戦女子ダブルス出場権獲得! 【4 年ぶり 通算6 回目】

猪股 麗・森谷 柊月ペア

全十勝高等学校インドソフトテニス大会 第3 位入賞



北海道高等学校インドソフトテニス選手権大会 3 回戦進出【ベスト 32】



ハイジャパ北北海道ブロック予選大会 第5 位

【代表決定戦により本戦出場権獲得】



全国大会に出場することは容易ではなく、高くて、厚くて、堅い見えない壁を乗り越えなければならないことを指導者として改めて実感しました。猪股・森谷ペアは、その壁を二人で乗り越え、北北海道代表として、全国大会のコート【苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場】で戦う権利を獲得することが出来ました。

支部予選会からの状態を維持しながら本大会に臨みましたが、初戦からファイナルまでもつれる試合を制し、ベスト4を懸けた試合では、あと1ポイントで3位以上の入賞と、本戦出場確定までいきましたが、勝ちきれずに三つ巴の代表決定戦に進みました。気持ちが途切れることなく、初戦では、6-3から起死回生の大逆転で勝ち、続く最終戦も見事に抑え切り、最後までラケットを振り抜き、走り切りました。

本戦は、6/17【土】の予選リーグを経て、18【日】に決勝トーナメントに臨みます。受付・公開練習・開会式などの関係もあり、14【水】には苫小牧入りをしますが、それまでに、やるべきことをやりきりたいと思います。

これからアウトドアでの活動が始まります。Team Nansho' 23として全国大会出場ペアが起爆剤となり、益々活躍していきたいと思っておりますので、引き続き、応援よろしくお願い致します。

大会結果詳細については、北海道高体連ソフトテニス HP をご覧下さい。